

中学の時から将来何がしたいのか、何が 필요한のかを考えることができる

D. K.

埼玉大学 工学部 機械工学・システムデザイン学科 進学
水戸市立 五軒小学校 卒業

課外授業が分野別・レベル別に充実していて、自分の現状や目標に合わせて受講でき、学力向上に役立ちました。また、入試対策の面接練習や小論文の添削では担当の先生が親身に対応してくださったおかげで入試本番でもうまく対応することができました。中学3年から行ったオンライン英会話では最初こそ緊張して話したいことをうまく話せず大変でしたが、慣れてくるとよく受講する講師の方と話すことが楽しみになったり、様々な人と話すことで新しいことを知れたりして、英語の学習として以外でも勉強になりました。このおかげで英語のスピーキングやリスニングが得意になり英検のスピーキングやリスニング、共通テストのリスニングでも9割近く取ることができました。探究学習の授業では、1年を通して自分が調べたい分野を調べて発表することで、スライドを作成し、話すことを数分にまとめるプレゼンをするものの訓練になったと感じます。自分は工学のクリーンエネルギーについて探究したのですが、この授業を通して自分で調べて得た知識はもちろん、友人が調べて発表していたことで得た知識も大学入試の小論文でかなり役立ったので、受験勉強で忙しくなる前にいろいろなことを知れて良かったと感じています。

水泳部は週4回ほどの活動であったため、部活三昧で他に充てられる時間が無くなることもなく、定期的な運動をすることで勉強のリフレッシュにもなって良かったです。水泳部は部員が多かったため、他学年の先輩や後輩、また、関わる機会の少ない高入生や他クラスの人たちとの関わりがもて、自分は中学で部長、高校で副部長を務めていたため、誰かをまとめたり何かを計画したりする経験を積むことができました。部活動のおかげでとても有意義な中高生活を送れたと思います。新しいクラスになって間もない4月や6月にある遠足や文化祭では、まだあまり馴染みのなかったクラスメイトとの交流を深められ、特に文化祭ではクラスで1つのものを作り上げる過程で関わりが少なかった人たちとも話し合ったり、放課後まで残って協力し作業を進めたことが記憶に残っています。当日自分が楽しむのはもちろんですが、自分のクラスに来てくださった方に楽しかったと言ってもらえて達成感を感じました。クラスマッチでは自分はあまり運動が得意ではないので、他の種目でクラスに貢献し応援で声を枯らしたことが良い思い出です。

中高一貫であるため高校受験に妨げられることなく中学生の時から自分は将来何がしたいのか、そのために何が 필요한のかを考えることができます。また、個人的には一貫生の先取り学習は早すぎてついていけないというわけではないですが、特に数学は高3が始まった段階でほとんど終了しているため、余裕をもって受験勉強に取り組むことができます。加えて、高校受験のための勉強をする必要がないため、英検などの資格取得のための時間をかけたり、勉強には直接関係のない特技を受験で妨げられることなく伸ばすことができたりします。ですが、一番の魅力に感じた点は普通の中学校では本来3年で別れてしまう仲間たちと6年間同じ学校に通うことができるため、よりたくさんの人と友達になることができ、より深いつながりを持つことができる点だと思います。

大学では機械工学や情報系の分野について学び、将来は技術開発で社会に貢献していきたいと考えています。茨中・茨高で得た経験を活かすことができるようこれからも勉強していきたいと思っています。